

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第51期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社銀座ルノアール
【英訳名】	GINZA RENOIR CO.,LTD
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小宮山 文男
【本店の所在の場所】	東京都中野区中央4丁目60番3号
【電話番号】	03(5342)0881(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長兼総務部長 猪狩 安往
【最寄りの連絡場所】	東京都中野区中央4丁目60番3号
【電話番号】	03(5342)0881(代表)
【事務連絡者氏名】	専務取締役管理本部長兼総務部長 猪狩 安往
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第50期 第1四半期連結 累計期間	第51期 第1四半期連結 累計期間	第50期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(百万円)	1,635	1,701	6,568
経常利益(百万円)	103	164	372
四半期(当期)純利益(百万円)	21	81	179
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	18	85	193
純資産額(百万円)	4,784	5,020	4,978
総資産額(百万円)	5,600	5,822	5,883
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	3.61	13.53	29.97
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	13.43	29.89
自己資本比率(%)	84.8	85.6	84.0

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第50期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新政権の経済政策や金融緩和により円安・株高が進行し、景気は緩やかに回復傾向にあるものの、海外景気の下振れの懸念等依然として先行き不透明な状況となっております。また、景気回復に伴う個人消費の盛り上がりへの期待はあるものの、引き続き不安定な雇用状況や消費税率の引き上げに対する懸念などから、消費者の節約志向は続くものと思われれます。

当社グループが属する喫茶業界に関しましては、重要課題である出店立地の選択において、競合各社による競争もますます激化しており、出店目標を達成できない状況にあります。

このような状況の中、当社グループはお客様に求められる価値観を提供し続けることが出来るよう、より高品質の商品やお客様がくつろげるホスピタリティあふれるサービスの提供に努めるなど既存店の強化を行ってまいりました。

また、「FC開発部門」を創設し、フランチャイズ方式による全国展開を視野に入れた出店政策を進めてまいります。

店舗数につきましては、平成25年5月亀戸駅前店及びニューヨーカーズ・カフェ千駄ヶ谷駅前店の2店舗を閉店いたしましたので、113店舗(内2店舗はFC)となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,701百万円(前年同期比65百万円増)、営業利益は153百万円(前年同期比60百万円増)、経常利益は164百万円(前年同期比61百万円増)、四半期純利益は81百万円(前年同期は59百万円増)となりました。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は5,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ61百万円の減少となりました。これは主に、敷金及び保証金が68百万円減少したこと等によるものであります。

負債は801百万円となり前連結会計年度末に比べ103百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が41百万円、その他流動負債が54百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産は5,020百万円となり前連結会計年度末に比べ41百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が33百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は85.6%(前連結会計年度末は84.0%)となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,252,004	6,252,004	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	6,252,004	6,252,004	-	-

(注) 「提出日現在発行数」欄には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日 ~ 平成25年6月30日	-	6,252,004	-	771,682	-	1,062,078

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 227,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,011,000	6,011	-
単元未満株式	普通株式 14,004	-	-
発行済株式総数	6,252,004	-	-
総株主の議決権	-	6,011	-

(注)「単元未満株式」の「株式数」の欄には、当社所有の自己株式713株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合(%)
(株)銀座ルノアール	東京都中野区中央 4丁目60番3号	227,000	-	227,000	3.6
計	-	227,000	-	227,000	3.6

(注)当第1四半期会計期間末の自己株式数は、227,713株であります。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,295,708	1,326,757
売掛金	38,565	37,290
有価証券	2,015	2,532
商品	25,307	24,388
貯蔵品	2,056	1,462
繰延税金資産	58,979	58,979
その他	180,385	192,951
流動資産合計	1,603,017	1,644,362
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,304,881	3,284,139
減価償却累計額	2,077,167	2,094,292
建物(純額)	1,227,714	1,189,846
工具、器具及び備品	343,193	334,403
減価償却累計額	311,987	304,187
工具、器具及び備品(純額)	31,205	30,215
土地	518,173	518,173
その他	1,858	2,454
減価償却累計額	1,802	163
その他(純額)	55	2,290
有形固定資産合計	1,777,149	1,740,526
無形固定資産		
商標権	7,286	6,766
ソフトウェア	13,981	12,660
無形固定資産合計	21,268	19,426
投資その他の資産		
投資有価証券	173,072	175,409
長期貸付金	36,369	41,392
敷金及び保証金	2,023,827	1,954,896
繰延税金資産	105,288	105,129
その他	149,943	147,248
貸倒引当金	6,212	6,212
投資その他の資産合計	2,482,289	2,417,864
固定資産合計	4,280,707	4,177,818
資産合計	5,883,724	5,822,181

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,642	70,361
短期借入金	80,000	80,000
未払法人税等	89,310	88,071
賞与引当金	65,470	24,150
株主優待引当金	19,167	15,600
その他	304,617	250,385
流動負債合計	637,208	528,568
固定負債		
退職給付引当金	103,339	105,350
役員退職慰労引当金	84,968	88,108
その他	79,764	79,764
固定負債合計	268,072	273,222
負債合計	905,281	801,791
純資産の部		
株主資本		
資本金	771,682	771,682
資本剰余金	1,063,158	1,063,398
利益剰余金	3,192,667	3,226,001
自己株式	100,466	96,340
株主資本合計	4,927,041	4,964,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,366	20,253
その他の包括利益累計額合計	16,366	20,253
少数株主持分	35,034	35,393
純資産合計	4,978,442	5,020,389
負債純資産合計	5,883,724	5,822,181

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第 1 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	1,635,524	1,701,119
売上原価	203,051	209,424
売上総利益	1,432,473	1,491,695
販売費及び一般管理費	1,339,574	1,338,368
営業利益	92,899	153,326
営業外収益		
受取利息	577	425
受取配当金	532	624
受取家賃	17,957	18,174
その他	2,714	3,462
営業外収益合計	21,781	22,686
営業外費用		
支払利息	205	240
不動産賃貸費用	9,065	9,189
その他	1,627	1,628
営業外費用合計	10,898	11,058
経常利益	103,782	164,955
特別損失		
固定資産廃棄損	3,110	603
特別損失合計	3,110	603
税金等調整前四半期純利益	100,671	164,351
法人税等	79,082	82,541
少数株主損益調整前四半期純利益	21,588	81,809
少数株主利益	49	358
四半期純利益	21,539	81,450

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,588	81,809
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,928	3,887
その他の包括利益合計	2,928	3,887
四半期包括利益	18,660	85,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,611	85,337
少数株主に係る四半期包括利益	49	358

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	47,392千円	48,882千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	29,851	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	48,115	8	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

当社グループは、喫茶等事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	3円61銭	13円53銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	21,539	81,450
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	21,539	81,450
普通株式の期中平均株式数(株)	5,970,262	6,018,786
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	13円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	45,484
(うち新株予約権)	(-)	(45,484)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注)前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

株式会社銀座ルノアール
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 聡 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 北本 佳永子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座ルノアールの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座ルノアール及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。